

金沢 21 世紀美術館 館長交代 および

初代館長 蓑 豊氏の特任館長への就任について

金沢 21 世紀美術館の ^{みの ゆたか} 蓑 豊 館長（昭和 16 年（1941 年）10 月生、65 歳）は、平成 19 年 3 月 31 日付けをもって退任します。

後任は地中美術館前館長の ^{あきもとゆうじ} 秋元雄史氏。

なお、兼務する金沢市助役、大阪市立美術館館長につきましても同日退任します。

蓑館長は、平成 15 年（03 年）4 月、初代金沢 21 世紀美術館長および文化顧問に就任。平成 17 年（05 年）4 月からは金沢市助役に就任。同時に平成 8 年（96 年）より就任している大阪市立美術館館長を兼務、また全国美術館会議会長（平成 13 年 6 月～）など各種美術団体役員を兼ね、金沢、大阪を主な活動拠点として、美術の振興と地域の発展に尽くしてきました。

特に、金沢 21 世紀美術館においては、市民が気軽に足を運ぶことのできる、誰にでも開かれた美術館設立のため、開館前より地域市民へのはたらきかけや商店街との連携に尽力、その入館者数は、開館 1 年目で 157 万人、開館 2 年 1 ヶ月あまりで 300 万人を達成、開館 1 年目の金沢市への経済波及効果は、328 億円にのぼりました。同時に、「子どもとともに成長する美術館」をコンセプトに、子どもに美術館を紹介する取り組みを積極的に導入し、開館年度には、金沢市内の小中学生とその教員約 41,000 人全員を無料招待する「ミュージアム・クルーズ」を開催、そのうち約 7000 人の子どもが家族を連れて美術館を再訪するなどの効果を挙げてきました。また、スウェーデンのストックホルム近代美術館の教育プログラム「ゾーン・モデルナ」を日本で初めて導入し、ニート支援も視野に入れた若者向けのアート・プロジェクトに着手。その第一歩である日比野克彦「明後日朝顔プロジェクト 21」は今夏、美術館の建物全館覆って花を咲かせることになる。

蓑氏は 4 月からは金沢 21 世紀美術館特任館長として、引き続き同館の発展に寄与します。また同氏は 5 月までに米国に居を移し、歴史ある世界的なオークションハウスであるサザビーズ北米本社の副会長に就任します。

山出保金沢市長のコメント

蓑さんには、この 4 年間金沢 21 世紀美術館の館長として大変ご尽力いただき、開館 2 年あまりで来館者 300 万人という快挙を成し遂げ、世界的な美術館に育て上げられましたことに感謝申し上げます。積極的に外に出て、親しみやすいお人柄で地元商店街をはじめ多くの人々と話合いの場をもうけ、人々に開かれた美術館を目指されました。「子供と共に成長する美術館」にしたいとの情熱を持たれ、私もその考えに賛成し見守ってきました。ご本人の「美術館が街をかえる」という夢を金沢で実現されたと思います。また、市の助役としても金沢の文化振興に大きく貢献されたことにも感謝致します。今後も特任館長として美術館の発展に寄与されることを期待しつつ、これから家族のいる米国で一層ご活躍されることをお祈りしております。

※本件に関するお問い合わせは下記担当者までお願いいたします。

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

金沢 21 世紀美術館

広報担当： 江藤

Tel 076-220-2800 Fax 076-220-2802

<http://www.kanazawa21.jp>